

学校だより

薨の風

いらか

かせ

令和3年1月22日発行

多賀城市立高崎中学校

学校教育目標

気づき、考え、共に創り上げる生徒の育成

校訓「自律・共生・創造」

〒985-0862 多賀城市高崎2丁目25-1

TEL 022-309-3671

教育活動アンケートの結果について(ご報告)

昨年12月にご協力をお願いしました「教育活動アンケート」の集計結果等(集計結果は表面に、各項目ごとの工夫改善点等については裏面に掲載)について、下記のとおりご報告いたします。ご多用の中、多くの皆様からご回答いただき、深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

1 集計結果【A:思う B:どちらかと思う C:どちらかというと思わない D:思わない】

(1)「自ら学ぶ生徒」について

①学校の様子から

②家庭の様子から

質問項目			A	B	C	D
1	家庭学習の習慣を身に付けようと努めている。	①	34%	49%	15%	2%
		②	29%	44%	20%	7%
2	学習意欲が向上してきている。	①	29%	52%	15%	4%
		②	31%	44%	18%	7%
3	学習に工夫して取り組もうと努めている。	①	24%	51%	20%	5%
		②	25%	41%	26%	8%

(2)「思いやりのある生徒」について

①学校の様子から

②家庭の様子から

質問項目			A	B	C	D
4	家族や友達、先輩、後輩を大切にしようと努めている。	①	61%	37%	2%	0%
		②	58%	39%	2%	0%
5	集団で活動する場面で相手を思い、まとまりを大切にしようと努めている(と感じる)。	①	50%	46%	4%	0%
		②	45%	47%	6%	1%

(3)「たくましく生きる生徒」について

①学校の様子から

②家庭の様子から

質問項目			A	B	C	D
6	規則正しい生活を送ろうと努めている。	①	42%	46%	10%	2%
		②	27%	44%	22%	7%
7	ちょっとした課題や失敗は自分で乗り越えようと努めている。	①	34%	56%	9%	1%
		②	32%	54%	11%	3%

(4)「かかわり合い」について

質問項目			A	B	C	D
8	学校は生徒同士のかかわり合いを深めようと努めている(と感じる)。		30%	57%	11%	2%
9	学校は生徒と教職員とのかかわり合いを深めようと努めている。		31%	56%	11%	2%
10	学校は保護者と教職員とのかかわり合いを深めようと努めている(と感じる)。		25%	57%	16%	3%

2 結果を受けて

「A：思う」と「B：どちらかというと思う」の回答はプラス評価、「C：あまり思わない」と「D：思わない」はマイナス評価と捉え、今後の改善点等について考察しました。なお、(1)～(3)については「①学校の様子」と「②家庭の様子」に分けて評価していただきました。

(1)「自ら学ぶ生徒」について ～「学校の様子」の「プラス評価」の平均は約80%～

「学校での様子」については「プラス評価」の平均が昨年度とほぼ同じ約80%、「家庭での様子」は昨年度より4ポイント上昇し約71%でした。「家庭の様子」を「学校の様子」と比較すると、昨年度と同様に約9ポイントの開きがあります。また、(2)～(4)の項目と比べると、C、Dのポイント数が高くなっています。これらのことから、保護者の皆様のなかには、「まだまだ家庭学習について頑張れる!」と感じている方が少なく無いことがわかります。実際にアンケートには、お子様の心配事として「学習習慣が身につけていない」、「学習意欲がわからないようだ」、「今の状態では成績が心配だ」などの感想がありました。学習の必要性を理解しながらも、主体的に学習に取り組むことができている原因は、個々の生徒によって異なります。個々の生徒の実態を把握し、個別指導を今後も継続して行っていきます。

今年度から大学入試が「大学入学共通テスト」という新しいテストに変わりました。ほとんどの問題が、ただ単に知識を暗記しているだけでは解けない、思考力・判断力・表現力が必要とされる問題になりました。中学校でも、来年度より新しい学習指導要領に基づいた授業が展開されるようになります。教科書も替わります。学んだことをもとに、さらに調べ、話し合い、課題を解決する「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善も、今後加速させていきます。



(2)「思いやりのある生徒」について ～「学校の様子」の「プラス評価」の平均は約97%～

「家庭の様子」の「プラス評価」の平均も約95%と高い値になりました。特に質問項目4については、「A評価」が「B評価」を大きく上回りました。家族や友達など自分にとって身近な人を大切にしようとする姿勢がうかがえます。一方の質問項目5では、質問項目4ほどの高い値ではなく、「評価C」や「評価D」の値も増えています。「思いやり」は実際に多くの人とかがわり合って相手の考えや気持ちを理解しようとしなければ育ちません。そのことを踏まえ、学級、学年、全校と、様々な集団活動の場を活用して、誰に対しても「思いやり」のある生徒の育成を目指していきます。

(3)「たくましく生きる生徒」について ～「学校の様子」の「プラス評価」の平均は約89%～

「学校での様子」の「プラス評価」の平均は、昨年度とほぼ同じ値でした。しかし、「家庭での様子」の「プラス評価」の平均は、昨年度よりも約6ポイント上回り約79%でした。全ての項目で「評価B」が「評価A」を上回っており、特に質問項目6の「家庭の様子」については、全体の3割近いご家庭が「評価C」または「評価D」となっています。今後、学習、部活動、学校行事等を通して、規則正しい生活や、諦めずに粘り強く取り組むことの大切さを伝えながら支援していきます。



(4)「かかわり合い」について ～「学校の様子」の「プラス評価」の平均は約85%～

本校では平成30年度から教育目標具現化の手立ての一つとして、同級生、同学年や他学年、教職員や地域の皆様と、人と人との「かかわり合い」を積極的に深めて参りました。しかし今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、それぞれの「かかわり合い」を制限せざるを得ない1年でした。そのため、「プラス評価」が昨年度より6ポイント、さらに各項目の「評価A」が昨年度より7～10ポイント上回ったものの、まだまだ「B評価」が多い現状です。今後も感染拡大防止の取組は、しばらくの間継続されるものと思われます。そのような状況下であっても、これからの時代を力強く生きていく子供たちを育てるために「かかわり合い」はとても大切なものと考えています。物理的な「かかわり合い」が叶わないことはあっても、心と心の「かかわり合い」がもてるよう手立ての工夫改善に努めて参ります。

(5) おわりに

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校行事やPTA活動の中止や縮小が相次ぎ、保護者の方が直接お子様の学校での様子を見る機会が激減してしまいました。そのため、アンケートの回答に苦慮された質問もあったことと思います。それにもかかわらず、数少ない来校機会（体育祭やフリー参観等）や各種たより、そして何よりもお子様との日常会話等をもとにご回答いただきましたことに感謝申し上げます。

また、「目指す生徒像」、「かかわり合い」について、多数のお励ましやご助言をいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。